



学校だより

東京都立府中けやきの森学園
〒183-0003 府中市朝日町 3-14-1
TEL 042-367-2511 FAX 042-369-8476
<https://www.fuchu-keyaki-sh.metro.tokyo.jp>
令和7年1月31日(金)発行 第12号

教育内容の充実に向けた週時程へ

校長 相賀 直

本校では、令和9年度からの新しい教育課程(全校水曜日1便下校)の完全実施を目指し、令和7年度は、2便下校日を小学部1・2年、小学部3年、小学部4～6年、中学部と段階的に日数が増えるように設定いたします。

この教育課程編成の背景には、働き方改革の観点があります。本校の教員の勤務は朝8時半から午後5時までで、児童・生徒をスクールバスや放課後等デイサービスに引き渡す午後3時50分頃まで、ほぼ休憩なしで指導等に当たっています。また、給食についても児童・生徒に食べさせた後に、交代で食するなどの工夫をしている学級もあります。午後3時50分から午後4時35分までが休憩となり、午後4時35分から午後5時までの25分間が会議、教材準備等の時間となっています。しかし、その時間だけでは足りず、残業や仕事の持ち帰りが多く発生している現状があります。

そこで、学習指導要領で定められている標準時数を上回って設定している部分を削減して、標準時数よりも少し上回る程度にまでもっていくということが改定の主眼となります。全校水曜日1便下校を実現し、働き方改革を推進するとともに、水曜日の午後に会議や打合せ、研究、研修を設定し、教員間のコミュニケーションの活性化や協働性の向上を図り、働き方の改革とともに、児童・生徒の指導内容を充実させてまいります。保護者の皆様には今回の改定に当たって、このことについてどうか御理解をいただけますようお願いいたします。

デジタル教科書の活用

副校長 法月 英里

肢体不自由教育部門準ずる教育課程では、デジタル教科書を活用して指導の充実を図っています。担当教員は、学校に配置されたデジタルサポーターの助言を受けたり、校内外で研修を受けたりしてデジタル教科書の効果的な使い方を学び、指導の工夫と改善を重ねています。令和4年度の後期から国立特別支援教育総合研究所の「肢体不自由教育におけるICTの活用に関する研究」に学校として協力し、3年目に入りました。

3月8日(土)には、同研究所の「令和6年度国立特別支援教育総合研究所セミナー」の分科会で発表を行う予定です。会場、YouTube配信どちらも事前申込が必要ですが、是非、御参加くださいますよう、御案内いたします。



▲詳細、申込み
はこちらから

問合せ

◇平日(午前8時30分から午後5時まで) 042-367-2511(学校の代表番号)

修学旅行（肢体不自由教育部門 中学部）

修学旅行担当 市野 雄太

肢体不自由教育部門中学部では、11月28日（木）～29日（金）に3年生の修学旅行を実施しました。

1日目は、夢の島熱帯植物館を訪れ、事前学習で検索した植物やきれいな花々を見つけては「これ気になる!」、「撮りたい!」と、持参したタブレット端末で思い思いに写真を撮りながら散策しました。ホテルでは、部屋でくつろぎながら友達とおしゃべりしたり、大浴場にゆったりと浸かったり、寝具の準備をしたりなど、普段の学校生活とは異なる貴重な経験をすることができました。

2日目は、観光バスに乗り東京ディズニーランドへ。みんなで乗り物に乗ったり、3Dグラスを掛けて見るアトラクションの飛び出す映像にビックリしたりと、夢の国を満喫することができました。

新型コロナウイルス感染症の影響のため、小学部では宿泊行事を経験できなかった3年生にとって、全員で参加・宿泊することができた修学旅行。互いの絆を深め合い、中学部生活の中で一番の思い出となりました。



作業学習を通じて（知的障害教育部門 中学部）

学部主任 米本 浩二

知的障害教育部門中学部では、毎週金曜日の午前中にハンドクラフト班と紙工班に分かれて作業学習に取り組んでいます。

ハンドクラフト班では、1学期は紙袋、2学期はカレンダー、3学期はメモ帳（リサイクル紙）をメインに製作しています。紙工班は、再生紙はがき、マグネットシートを年間を通じて製作をしています。

今回は中学部で製作した製品を、就業体験でお世話になった近隣のカフェの皆様へ感謝の気持ちを込めてお届けしました。店長さんやスタッフの皆様喜んでいただけました。

また、校内では小学部在学時にお世話になった知的障害教育部門小学部の先生方の協力のもと、チケットと引き換えに製品を渡す形での販売のやり取りを体験し、学習しました。

これらの取組から、自分たちが一生懸命取り組み、作ったものが、沢山の方々に喜んでいただけるということを体験とおして学ぶことができました。これからも丁寧な仕事と、心を込めた挨拶を大切に作業学習に取り組んでまいります。



芸術鑑賞教室 ～ブラジルの音楽～（肢体不自由教育部門）

芸術鑑賞教室担当 高野 瞳

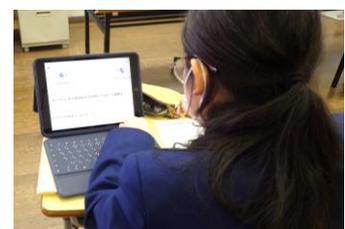
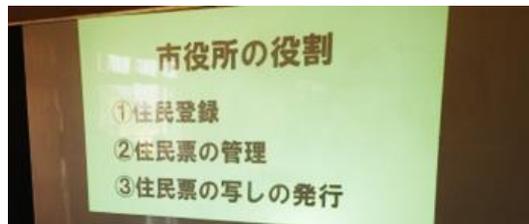
12月19日（木）に、「カンタ・バイラ」のみなさんによる「ゆかいなブラジリアンコンサート」を鑑賞しました。本場ブラジルのサンバやボサノヴァの曲の他に、児童・生徒もよく知っている日本の曲や季節の曲をアレンジしたプログラムもあり、表情豊かに見たり聴いたり、リズムに乗ったりする様子がありました。賑やかで明るい曲、ゆったりしっとりとした曲など、ブラジルの音楽特有の雰囲気を感じながら楽しむことができました。「踊れサンバ」という曲では、打楽器と一緒に鳴らして演奏に参加し、会場全体で盛り上がりました。ブラジルの音楽や文化に触れるよい機会となりました。



役所の役割を調べる（知的障害教育部門 高等部2年）～ICT教育推進～

ICT教育推進担当 嶋貫 英人

知的障害教育部門高等部職業類型2年生では、社会科の授業で「公共施設の利用」という単元で「市役所」について学習しました。市役所の果たす役割について概略を学んだ後、一人一台の端末を使って、各自の居住する地域の市役所について調べました。市役所の所在地や市長の名前をはじめ、住民登録の持つ意味や住民票の入手の仕方、印鑑登録や印鑑証明の使用目的など、近い将来、自分たちが利用することになるであろうことについて調べを進めました。スマートフォンやゲーム機を使い慣れている生徒たちは、端末を見事に使いこなして教師が期待する以上の内容を調べ上げました。



堆肥を使って野菜を育てる（肢体不自由教育部門 高等部）～堆肥プロジェクト～

堆肥プロジェクトメンバー 中村 嘉人

肢体不自由教育部門高等部C2グループでは、生活単元学習の一環として堆肥を利用して野菜を育てる活動を行いました。皆で校内の農場に堆肥を取りに行き、その後プランターに堆肥と土を混ぜて苗の植え付けをしました。いちご、ミニトマト、オクラを苗から育て、見事に実を結び、収穫することができました。堆肥を使って野菜を育てることで、自然の循環や植物の成長を学ぶことができました。今後も、堆肥プロジェクトに取り組んでいきたいと思ひます。

